

でもよく考えてみてください。

いくら医療に関わっていても、日常的に「切腹したお腹の中」を見たことがある人のほうが少ないのではないのでしょうか？

それに、患者さんが「教科書どおり」の人のほうが少ないと思いませんか？  
痩せすぎたり、太っていたり、或いは手術創があったり・・・

もちろん、私も解剖に関して、教科書より詳しいわけではありません。  
時々、本を見ることもあります。見ているうちにわからなくなってきた・・・  
「見たほうが早い！」と思うことが良くあるんです。

そうです。

全て、解剖の答えは「 **エコーが教えてくれる** 」んです。



## 解剖

この2文字を見るだけで、「嫌だなあ・・・」って思っている方もいるかもしれません。

以下に解剖の問題を10問出します。これをセミナーまでに覚えておいてください。  
決して難しい問題は出しません。

問題1

腹部の中で一番大きい臓器は？

問題2

肝臓は正中（体の中心・・・へソと剣状突起を結ぶ線とってください）より、右？左？  
どちら側に寄っていますか？

問題3

胆のうは正中より右？左？

問題4

胆のうは前？後ろ？

問題5

脾臓は正中より右？左？

問題6

脾臓は前？後ろ？

問題7

膵臓は前？後ろ？

問題8

腎臓は2つありますが、右の腎臓と左の腎臓。どっちが頭側にある？

問題9

大動脈は正中より右？左？

問題10

下大静脈は正中より右？左？

これだけ覚えておけば、セミナーは大丈夫です。

解答を見ずに、7問以上正解していたら、あなたは解剖をある程度理解されています。  
10問正解していたら、何も悩むことはありません。

きっと思うようにプローブを動かせるようになると思います。

解答は次のページ。簡単な解説も加えていますので、解説もきちんと読んでみましょう。

## 悪さをするのは、まず手首！

何か、物を探るとき。どうします？

キョロキョロしますよね。

キョロキョロするときに首に力が入っていると、キョロキョロできませんよね？。

腹部エコーも同じです。

病気を「探す」にはキョロキョロする必要があります。

すなわち、手首の力は「しなやかに」キョロキョロできるようにプローブを持つのです。

見落としちゃいけない。

この気持ちが「空回り」しないように、手首にとても力が入り、かえって「空回り」している方を多く見かけます。

「見落としちゃいけない」がいつの間にか空回りして、「力を入れないといけない」に変わってしまっているのです。

手首をガチガチに固定してしまうと、思うようにプローブを動かしにくくなります。

手首が動かなくなった分、体が動くことになってしまいます。

当然、頭も一緒に動くようになってしまいますので、視線がぶれてしまいます。

